

平成27年度事業報告

豊川市国際交流協会は、平成2年4月1日の設立以来、国際交流、国際親善についての理解と関心を高め、市民による幅広い国際交流活動を推進することにより、諸外国との相互理解と友好親善を図ってきました。

平成24年4月からは、愛知県から公益認定を受け、公益財団法人として新たな一歩を踏み出すこととなりました。

こうした中、平成27年度は、協会設立25周年記念事業や功労者表彰を行うとともに、引き続き、国際理解を深めるための交流事業や各種講座、在住外国人の生活などを支援するための日本語教室、相談等、多文化共生社会づくりのための事業を実施しました。

今後も、ボランティアや関係団体の方々との連携を密にし、公益性を活かしながら時代に即した事業を展開して、外国人を含めた市民が安全で安心して暮らせる地域づくりを目指していきます。

公益目的事業1

諸外国との相互理解と友好親善を深めるための国際交流と国際協力に関する事業

(1) 交流会

地域の人々と外国人との交流を通じて、相互理解と親善を深めることにより、国際的な視野を広め、国際感覚の醸成を図り、地域レベルでの国際交流、相互理解、友好親善を深めました。

①オイスカ（O I S C A）中部日本研修センター青年研修生との交流会

日 時 平成27年6月12日（金） 午後6時～7時30分

場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室

参加者 41人（このうちオイスカ研修生8人、指導員1人）

内 容 日本の農業技術を習得するためにオイスカ中部日本研修センターに滞在している開発途上国の青年研修生と指導員を招き、ひまわり農業協同組合の協力を得て、カントリーエレベーターやトマト集出荷場を始め市内の農業施設を見学したのち、本協会の会員との交流会を行い、相互の友好と親善を図りました。

②七夕交流会

日 時 平成27年7月4日（土） 午後1時30分～3時30分

場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室

参加者 71人（このうち外国人27人、子ども13人）

内 容 この地域に住む外国籍の子どもたちと一緒に、日本の伝統行事「七

夕」にふれながら、交流を図りました。七夕飾りづくり、ゆかたの試着などを行いました。

③お月見交流会

日 時 平成27年9月27日(日) 午後6時30分～8時
場 所 市勤労福祉会館 西側玄関前
参加者 149人(このうち外国人46人、子ども22人)
内 容 この地域に住む外国人市民等を対象に、日本の伝統行事「お月見」にふれながら、交流を図りました。月明かりの中、キャンドルづくり、お団子づくり、ジャズ演奏、マレーシアダンス、絵本の朗読などを行いました。

④ワールドフェスティバル2015

日 時 平成27年11月29日(日) 午後0時40分～4時
場 所 市勤労福祉会館 大研修ホールほか
参加者 600人超
内 容 この地域に住む外国人市民と日本人市民とが、音楽や踊りなどを通して、相互の親睦と国際理解を深めました。また、功労者表彰、中国雑技を招聘したほか、「協会25年の歩みパネル展」や「世界のおやつ」などを行いました。

⑤節分&折り紙交流会

日 時 平成28年1月31日(日) 午後1時30分～3時30分
場 所 市勤労福祉会館 まつ・さつき
参加者 80人(このうち小学生1人を含む外国人17人)
内 容 本年度は、節分交流会と折り紙交流会を合同で行い、この地域に住む外国人市民と日本人市民に、折り紙や節分を紹介する中で、歌、三味線・オカリナ演奏を披露するとともに、諏訪地区のイメージキャラクター「すわポン」といっしょに豆まきなどをして、相互の交流と国際理解を深めました。

⑥愛知万博10周年記念イベント「一市町村一国フレンドシップ メモリアルフェスタ」への参加

期 日 平成27年9月26日(土)・27日(日)
場 所 愛・地球博記念公園
参加者 28人(延31人)+出演者2人
内 容 愛知県が開催した愛知万博開催10周年イベントに参加しました。ブースではチェコ共和国との交流の様子をパネル展示、チェコビールの販売、また、ステージではチェコ出身の音楽家ダニエル・フォルローさんと豊川市出身のオペラ歌手大須賀関雄ケネスさんがコラボ出演したことから、本協会会員が応援、協力し、盛り上げました。

⑦ホームステイによる外国人研修生との交流

ア 期 間 平成27年10月16日(金)～18日(日)

受入れ人数 18人

受入れ家族 7家族

内 容 日本国際協力センター(JICE)が実施した青少年交流事業「JENESYS2015」で来日したアセアン各国と東ティモールの大学生のホームステイを受け入れました。

イ 期 間 平成28年2月19日(金)～21日(日)

受入れ人数 19人(大学生18人、引率者1人)

受入れ家族 9家族

内 容 日本国際協力センター(JICE)が実施した青少年交流事業「JENESYS2015」で来日したカンボジア大学生のホームステイを受け入れました。

(2) ジュニアフレンドシップ事業

青少年の国際化への関心を深めるために、ゲームや野外活動を通して多国籍の外国人との交流を行い、相互理解を図りました。

①キッズワールドサマースクール

日 時 平成27年7月26日(日) 午前8時30分～午後4時45分

場 所 鳳来寺山周辺、旧鳳来寺高校体育館、旧門谷小学校講堂(新城市)

対 象 小学校4年生～6年生

参加者 55人(スタッフ10人、外国人7人)

内 容 子どもたちの国際化への関心を深めるため、鳳来寺山へのハイキングやゲーム、スイカ割りなどを通して外国人ゲストとの交流を図りました。

②マレーシア児童・生徒受け入れ事業

期 間 平成27年12月11日(金)～14日(月)

来日生徒 14名(中高生8人、引率者等6人)

内 容 マレーシアジュニアフレンドシッププログラムin2015で来豊した中高生らを受け入れ、ホームステイや御津高校での授業体験などで、交流を図りました。

公益目的事業2

地域の国際化を推進するための人材の育成と市民活動支援に関する事業

(1) ボランティア登録・育成・活動の紹介

地域の国際化に関心のある市民を、ボランティアとして募集、登録、育成すると

ともに、ボランティア活動の紹介を行いました。また、地域の国際化を推進するための人材の育成と市民活動の活性化に向けて支援しました。

①日本語学習支援、イベント支援等のボランティアの募集・登録

機関誌「We」やホームページに掲載して、募集、登録を促しました。

②協会の事業実施状況、ボランティアグループの活動状況の紹介、情報交換やボランティア活動における課題について話し合う意見交換会

毎月1回、各部会の代表者からなる運営委員会を開催しました。

開催回数 12回

③市民まつり「おいでん祭」への参加

期 日 平成27年5月23日（土）・24日（日）

場 所 市野球場

内 容 協会事業や各部会の活動をパネルでの紹介、南アメリカの伝統料理や飲み物の販売、民族衣装の展示・試着、南アメリカの伝統的な踊り（ステージ）音楽演奏（ブース）、ネパール大地震被災者支援募金などを行いました。

(2) 国際理解講座の開催

人権、環境、多文化共生、平和など地球規模の課題への理解を深め、解決に向けた実践的な行動を起こすことができる市民の育成を狙いとした講座や講演会、演奏会を行うことにより、市民の国際理解を深める取り組みを推進しました。

①国際理解講演会等の開催

ア 国際理解講演会

日 時 平成27年6月21日（日） 午後1時30分～3時30分

場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室

講 師 川村 範行さん（名古屋外国語大学特任教授）

参加者 59人

内 容 「中国を知る～ジャーナリストが見る現在の中国と今後の日中交流～」をテーマに、今の中国の社会情勢や日中関係について学びました。

イ 多文化共生防災講座

日 時 平成27年11月14日（土） 午前10時～午後0時

場 所 市勤労福祉会館 第2会議室

講 師 市消防本部防災対策課職員

参加者 38人（このうちブラジル8人、中国7人、ベトナム2人）

内 容 「地震が起こった時、何をすればいい？～避難所・非常食・防災グッズ～」をテーマに、この地域に住む外国人市民と日本人市民

が、地震についての講話を聴くとともに、簡易な防災グッズづくり、備蓄非常食の調理方法などを学びました。

②世界の料理教室の開催

世界の食文化を理解するため、これまで様々な国の料理の作り方を学んでいます。今年はマレーシアの家庭料理の作り方を学び、その国の食文化に接しながら国際理解を深めました。

日 時 平成27年10月31日(土) 午前10時～午後1時
場 所 市勤労福祉会館 調理実習室
講 師 ヌル・ザワティール・イシキ・ビンティ・ダウトさん
参加者 25人
内 容 マレーシア料理のパンダンリーフライス、マレーシアンマンゴーチキン、サラダ、スイーツを作りました。

③「第7回チェコの夕べ」の開催

愛・地球博で旧音羽町のフレンドシップ国であったチェコ共和国出身の音楽家などによる演奏会を開催することで、チェコ共和国についての理解を深め、音楽を通じた交流をすることができました。

日 時 平成28年3月18日(金) 午後6時30分開演
場 所 市音羽文化ホール
出 演 チェコ共和国出身のシュターミッツ四重奏団、平山昌子さん(ピアノ)
入場者 178人

④文化講座の開催

「どんな国シリーズ」として、2回開催し、それぞれの国の歴史、風俗、習慣などについて紹介していただき、国際的な知識と視野を広めました。

ア 「ラオスってどんな国」

日 時 平成27年9月12日(土) 午後2時～4時
場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室
講 師 チャンタマート ソーダーさん(豊橋技術科学大学特任助教授)
内 容 ラオス出身の講師によるラオスの文化、生活習慣の紹介などを行いました。
参加者 56人

イ 「メキシコってどんな国」

日 時 平成28年3月5日(土) 午後2時～4時
場 所 とよかわボランティア・市民活動センタープリオ視聴覚室
講 師 チャムー・アリアス・コラルさん
参加者 39人

内 容 メキシコ出身の講師によるメキシコの文化や習慣の紹介などを行いました。

⑤日本語ボランティア フォローアップ研修の開催

教え方のポイントについて研修を行いました。

期 日 平成27年8月22日(土)・29日(土)

場 所 市勤労福祉会館 研修室

講 師 本多 章義さん(豊川市こぎつね教室コーディネーター)

受講者 39人(会員39人)

⑥日本語ボランティア養成講座の開催

日本語を教えるための基本的なこと、効果的な教材の使い方などについて学びました。

期 日 平成27年12月6日(日)・20日(日)

場 所 市勤労福祉会館 第2会議室

講 師 伏屋由美さん(名古屋YWCA)

西尾ナナさん(東海日本語ネットワーク)

受講者 48人(会員31人・一般17人)

(3) 姉妹都市等の交流

海外へ青少年を派遣し、異文化体験や交流、相互理解の機会を通して、地域の国際化を推進する人材の育成を図りました。

また、姉妹都市・友好都市との交流を支援しました。

①高校生海外派遣事業

豊橋市国際交流協会との広域国際交流事業により豊橋市の姉妹都市であるアメリカ合衆国トリード市のトリード大学を会場にして毎年、夏季に開催される「トリード インターナショナル ユースアカデミー」に市内在住の高校生を派遣し、英語での講義を受けたほか、各国青少年の文化交流への参加や、大学寄宿舎での生活体験を通じ、次代を担う青少年の国際的視野を広め、世界の同世代の若者たちとの友好と親善を深めました。

派遣期間 平成27年7月18日(土)～8月3日(月)(17日間)

派遣先 アメリカ合衆国オハイオ州トリード市

参加者 本市在住高校生4人(そのほか豊橋市在住の高校生6人と引率教諭1人)

②姉妹都市・友好都市との交流の支援について

日 時 平成27年6月26日(金) 午後6時～8時

場 所 市民プラザ

内 容 豊川市が実施する姉妹都市アメリカ合衆国キュパティーノ市中学

生使節団歓迎会での支援
参加者 11人

(4) 外国語講座

語学学習及び外国人との会話を通して外国文化に触れ、国際的感覚を養いました。
英会話6講座、フランス語1講座、中国語2講座、スペイン語1講座を実施しました。

①英会話講座

- ア わかりやすい基礎英会話（入門）
平成27年5月19日～8月11日（受講者9人）
- イ やさしい英会話1（入門）
平成27年5月19日～8月4日（受講者24人）
- ウ わかりやすい初級英会話（初級）
平成27年8月25日～12月1日（受講者9人）
- エ やさしい英会話2（初級）
平成27年9月3日～11月19日（受講者16人）
- オ 英語で楽しいディスカッション（初中級）
平成27年12月1日～3月8日（受講者19人）
- カ 日本を英語で話してみよう！（中級）
平成27年12月8日～3月15日（受講者12人）

②フランス語講座

- ・ 初めてのフランス語（入門）
平成27年5月14日～8月20日（受講者7人）

③中国語講座

- ア 使える中国語1（初級）
平成27年8月20日～11月26日（受講者17人）
- イ 使える中国語2（初級）
平成27年12月3日～3月24日（受講者22人）

④スペイン語講座

- ・ 楽しくスペイン語（初級）
平成27年12月9日～3月16日（受講者7人）

公益目的事業3

外国人と共に暮らす多文化共生社会の実現に向けた事業

(1) 日本語学習支援事業

外国人住民が日本人と円滑なコミュニケーションをとり、充実した日常生活を送ることができるよう支援するために日本語教室を開催するなど日本語習得の機会を提供し、文化や制度などの理解を深められるよう日本語の上達を図り、多文化共生社会づくりを推進しました。

①日本語教室の開催

・夜クラス

日本語習得を希望する外国人を日本語の能力別にクラス編成し、能力にあった日本語指導を行いました。

日 時 4月～3月の毎週土曜日 午後7時45分から午後9時まで（午後6時から7時30分まで補習あり）

場 所 市勤労福祉会館

受講者 延べ252人（38期（4月から7月）119人、39期（9月から3月）133人）

講 師 協会の部会員

内 容 入門から上級まで、20クラスに編成して、1期5か月（概ね20回）で修了し、年2回開講しました。

・ひるまクラス

日本語を勉強したい人が多くの受講機会が得られるよう、前年度から引続いて午前中の教室を開講しました。

時 期 4月～3月の火曜日から木曜日 午前10時30分から12時まで

場 所 プリオビル

受講者 延べ55人（6期（4月から7月）29人、7期（9月から3月）26人）

講 師 協会のボランティア

内 容 入門から上級まで、小グループ又は個人レッスンで行い、1期5か月（概ね20回）で修了し、年2回開講しました。

②ひらがなしんぶん発行事業

市内在住の外国人家族を対象に「ひらがな」で、日本の風俗習慣などを中心に、生活に関わる情報を提供し、日本人との円滑な交流ができるようにすることを目的として毎月1回発行し、保育園、幼稚園、小・中学校、市図書館を通して配布しました。

発行回数 12回（毎月1回）

発行部数 760部／回

③豊川市日本語スピーチコンテスト（第6回）

豊川市に在住する日本語が母国語でない小学生以上の男女による日本語スピー

ーチコンテストを開催し、日本での生活を通して考えたことや伝えたいことを発表することにより、国際理解を深めるとともに、市民相互の交流を図りました。

日 時 平成27年11月1日（日） 午後1時30分～4時

場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室

出場者 10人

・小、中学生の部 1人

・高校生以上一般の部 9人

なお、小、中学生の部から1人、高校生以上一般の部から4人が、東三河日本語スピーチコンテスト（平成28年1月17日（日）豊橋市公会堂で開催）へ出場しました。

(2) ペクラ事業

この地域に在住するラテンアメリカにつながる子どもたちが、母国語や日本語で円滑なコミュニケーションをとれるように母国語教室及び日本語教室を開催するとともに、学習支援などを実施して、多文化共生社会づくりの促進を図りました。

①小中学生学習支援クラス

日 時 4月～3月の第1、2、3土曜日 午後2時～5時

年間36回開講

場 所 主に市社会福祉会館（ウィズ豊川）

講 師 専門講師及び協会ボランティア

登録者 9人

内 容 母国語、日本語及び学校の教科の学習支援を行いました。

②アトリエ

日 時 4月～3月の第1、2、3土曜日 午後6時～9時 年間41回開催

場 所 主に市社会福祉会館（ウィズ豊川）

参加者 20人（小・中学生）

講 師 協会部会のボランティア

内 容 ラテンアメリカの民族舞踊を教えることで、子どもたちに母国の文化の伝承と意識づけを図りました。

(3) 外国人多言語相談事業

外国人市民が抱える問題に対し、母国語で相談できるよう住民に関する生活情報等の収集、提供を多言語で行うことにより、外国人市民への生活支援の充実を図ることで、多文化共生社会づくりを推進しました。

①スペイン語、英語、中国語による生活相談及び情報提供

・相談件数 167件

(4) 翻訳事業

住民、行政機関、各種団体からの翻訳の依頼に対し、必要な翻訳を行い多文化共生社会づくりに寄与しました。

①個人から行政機関等に提出する公文書、市役所等が外国人向けに提供する行政情報及び公的な文書の翻訳

通年にわたり、英語、中国語、スペイン語の通訳、翻訳などを行いました。

公益目的事業 4

地域の国際化を推進するための調査研究及び情報提供に関する事業

(1) 機関誌発行事業

地域の国際化に関する情報を市民や関係団体に情報提供することで、市民レベルでのボランティア活動の推進と地域の国際化を図りました。

①機関誌「We」の発行

発行回数 年3回（5月・9月・1月）

発行部数 1,400部/回

(2) 広報とよかわ「インフォルマ」スペイン語・ポルトガル語版翻訳事業

日本語が分からないために情報格差が生じがちな外国人市民に対し、市広報の行政情報の一部を母国語で提供しました。

①「インフォルマ」の翻訳

発行回数 年12回

発行部数 1,800部/回

(3) 協会ホームページの運営

広報手段として重要なホームページを管理・運営することにより、生活に必要な情報を速やかに提供するとともに、協会の事業やボランティア活動に参加を促し、地域の国際化の推進を図りました。

①ホームページでの情報提供

通年で、ホームページを活用して、本協会の行事予定や活動状況、語学講座や文化講座の諸事業について、より多くの方に情報提供し協会事業への参加を促すための情報発信を行いました。

附属明細書

平成27年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。